

令和6年11月定例会 総務委員会（事前）

令和6年11月26日（火）

〔委員会の概要 生活環境部・労働委員会関係〕

福山委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。（11時01分）

これより生活環境部・労働委員会関係の調査を行います。

この際、生活環境部・労働委員会関係の11月定例会提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

生活環境部

【提出予定議案】（説明資料）

- 議案第1号 令和6年度徳島県一般会計補正予算（第6号）
- 議案第4号 徳島県生活環境関係手数料条例の一部改正について

【報告事項】

- 徳島県とドイツ・ニーダーザクセン州との交流推進に関する共同宣言の締結について
- 徳島県賃上げ支援事業申請受付の開始について

労働委員会

【報告事項】

- 調整事件について（資料1）
- 個別的労使紛争解決サービスの運用状況について（資料1）
- 不当労働行為事件の申立てについて

勝川生活環境部長

それでは、総務委員会説明資料によりまして、11月定例会に提出を予定しております生活環境部の案件につきまして、御説明を申し上げます。

今回御審議いただきます案件は、令和6年度一般会計補正予算案及びその他の議案等といたしまして、条例案でございます。

3ページを御覧ください。

一般会計歳入歳出予算についてでございます。

補正総額につきましては、総括表一番下の計欄の左から3列目に記載のとおり1,000万円の増額をお願いしており、補正後の予算総額は、その右の欄のとおり82億7,025万円となっております。

補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

次に、課別主要事項につきまして御説明申し上げます。

4ページを御覧ください。

労働雇用政策課でございます。

目名、雇用促進費の摘要欄①ジョブナビとくしま機能強化事業では、若者の県内就職及び企業の人材確保、採用時のミスマッチ防止を支援するため、県が運営する就職支援情報サイトのジョブナビとくしまを改修し、インターンシップをはじめとした企業情報の発信強化及びユーザビリティ向上に取り組むための経費として1,000万円を計上しております。

労働雇用政策課の補正後の予算総額は41億6,718万2,000円となります。

5ページを御覧ください。

繰越明許費追加分についてでございます。

県内就職対策費では、ジョブナビとくしま機能強化事業の1,000万円について、自然公園等施設整備事業費では、鳴門公園施設老朽化等対策事業の4,200万円、合わせて5,200万円を繰越明許費として設定をお願いするものでございます。

今後、事業の早期執行に鋭意努めてまいる所存でございますので、御理解を賜りたいと思います。

6ページを御覧ください。

その他の議案等につきまして、1点御説明いたします。

（1）条例案についてでございます。

アの徳島県生活環境関係手数料条例の一部を改正する条例についてでございますが、こちらは、一般旅券の発給に係る手数料について書面により申請する場合の額を改めるとともに、オンラインにより申請する場合の額を定める必要があることから改正を行うものでございます。

施行期日につきましては、令和7年3月24日としております。

以上が、今定例会に提出を予定しております案件でございます。

続きまして、資料はお配りしてございませんが、この際、2点御報告させていただきます。

1点目は、徳島県とドイツ・ニーダーザクセン州との交流推進に関する共同宣言の締結についてでございます。

去る11月13日、後藤田知事と元木県会議長が徳島県と友好交流関係にあるドイツ・ニーダーザクセン州を訪問し、2007年に締結した交流に関する共同宣言に替わる、新たな共同宣言を締結いたしました。

共同宣言書には、若い世代を中心とした交流の強力な推進、環境分野、観光誘客、食と農業など、時代に即した新たな内容を盛り込んでおります。

今後、ニーダーザクセン州との連携を強化し、両県・州の更なる発展へとつなげてまいります。

続きまして、2点目は、徳島県賃上げ支援事業申請受付の開始についてでございます。

9月補正予算でお認めいただいた賃上げ支援事業につきましては、申請受付センターの体制が整ったため、12月2日から一時金の申請受付を開始いたします。

申請は、12月2日から令和7年2月28日までとし、徳島県賃上げ支援事業運営事務局において、専用ホームページからの電子申請若しくは郵送による受付を行います。

なお、電子申請については、12月9日からの受付となります。

引き続き、併せて設置するワンストップ相談窓口をはじめ、経済団体や金融機関、税理士会等の士業団体等を通じ、積極的な制度の活用を促してまいります。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

坂東労働委員会事務局長

今定例会で御審議いただく提出予定議案はございませんが、この際、3点御報告を申し上げます。

お手元の報告資料2ページを御覧ください。

1の調整事件についてでございます。新規に申請のあった事件が1件ございます。

調整事件とは、労働組合と使用者の間で発生した労働争議について、両者の自主的な解決が図られるよう、労働委員会において必要な手助けを行うものでございます。

この事件の使用者の業種はサービス業で、令和6年10月1日に、組合員の賃金引上げを求めて労働組合からあっせんの申請があったもので、現在、円満な解決に向け、当事者から事情聴取を行い、あっせんに向けて準備を進めているところでございます。

続きまして、報告資料の3ページを御覧ください。

2、個別的労使紛争解決サービスの運用状況についてでございます。

この表は、個々の労働者と使用者の個別的労使紛争についての本年4月1日から10月31日までの運用状況でございます。

表の一番上の欄、相談の件数は230件となっており、その下の欄、あっせん申請の件数は3件となっております。

それより下の欄は、あっせん申請の内訳となっております。3件とも既に終結しておりまして、双方の合意成立により解決に至ったものが1件、相手方の不応諾により打ち切りとなったものが1件、取下げが1件となっております。

最後に、資料はございませんが、不当労働行為事件の申立てについて御報告いたします。

令和6年10月30日付で、新規申立ての事件が1件ございました。

事件の概要は、労働組合から、運輸業の事業者を相手方として不利益取扱いの救済などを求める申立てでございます。

今後、当事者の主張や争点を明確にするための調査、証人調べなどの審問を実施した上で、公益委員5人全員から成る公益委員会議により不当労働行為の有無を判断し、救済又は棄却命令を行うこととなります。

以上で報告を終わらせていただきます。

御審議のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

福山委員長

以上で説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

平山委員

私からは、予算案として提出予定のジョブナビとくしま機能強化事業について、幾つか質問させていただきます。

まず、この事業の目的、概要についてお伺いしたいと思います。

井口労働雇用政策課長

補正予算のジョブナビとくしま機能強化事業についての御質問でございます。

目的、概要についてでございますが、県内の大学生の就職活動に当たりましては、約9割の方がインターンシップに参加している状況でございます。参加した方のうち約45%の方がインターンシップ先の企業から内々定、内定を受けるという状況になっているところでございます。インターンシップを受けた中から就職先を選んでいる、見つけている例が多いということでございます。

あわせて、若年者層の早期退職の一因とされる採用後のミスマッチを回避するため、学生のインターンシップの活動は重要度を増している状況でございます。

加えまして、学生の就活日程のルール変更がございます。専門活用型インターンシップ、2週間以上行うインターンシップに参加する現在の大学3年生が卒業する2026年卒以降の学生につきましては、通常の採用選考時期の開始である大学4年生の6月よりも早い段階から内々定を得ることが可能となるなど、就職活動の早期化が見込まれているところでございます。

このことから、企業の紹介を行いU I J ターン就職を誘導する県のサイトでありますジョブナビとくしまのリニューアルを行い、インターンシップ情報の提供機能を拡充しまして、県内企業と学生をはじめとする求職者の接点を増やす取組を進めてまいりたいと考えております。

平山委員

次に、なぜ今回の補正予算として提案することにしたのかを教えてください。

井口労働雇用政策課長

今回の補正予算に提案した理由でございます。

完成までに約9か月掛かると見込んでおりまして、今回補正予算をお認めいただけましたら、早急に契約等、事業の実施に着手して来年9月の完成を目指したいと考えております。

来年、大学3年生になる学生をメインのターゲットとしまして、多くの学生がインターンシップに参加するであろう冬休み前までに運用できればと考えております。

平山委員

国の調査では、入社3年以内の新入社員の離職率は3割を超えているといわれております。

早期の離職の原因としては、自分のステップアップのほか、思っていた職場と違うなど採用時のミスマッチが多いといわれており、インターンシップの重要性は増していると考えております。

今回は、このインターンシップの機能を拡充するとともに、より使いやすいサイトにするために改修を行うとのことですが、現場の課題やニーズなど、利用者や企業からどう

いった声があったのか教えてください。

井口労働雇用政策課長

改修に当たって、利用者や企業からどういった声があったのかというところでございます。

県では、県内の大学、工業短期大学、高等専門学校等々、高等教育機関の就職担当の職員と協議を行う場を設置しておりまして、月1回ペースでワーキンググループにおいて協議しているところでございます。

こういった中で、大学の就職担当の職員や学生側の意見としまして、徳島の企業を知る機会が少ない、県内企業の情報発信の強化が必要といった、県のサイトの使いやすさを改善してほしいであるとか、先ほども申し上げましたが、インターンシップ等の情報の充実などの意見を頂いたところでございます。

また、県の事業におきまして、就職フェア等に参加していただいている企業にもお話をお聞きしたところ、企業と求職者の接点を求める声が多くあるほか、企業情報を発信したいが今、大手の就職サイトは掲載料が高額であると訴えた声もございます。

今回の改修では、こうした意見を参考にしながら、改修設計を進める段階におきまして、先ほどお話ししました協議する場でお互いに意見をお伺いするなど、企業と利用する学生の両面から使いやすいサイトとなるように改修を行ってまいりたいと考えております。

平山委員

是非、利用する学生や登録する企業の意見をしっかりと聞いて利便性を高めていただきたいと思います。

次に、現在何社の企業が情報の登録を行っているのか。あわせて、このジョブナビを運用することで、どのような効果が期待できるのかを御答弁ください。

井口労働雇用政策課長

企業の登録数と期待する効果というところでございます。

現在、ジョブナビとくしまには約600社を超える企業に登録していただきまして、それぞれ情報を掲載しているところでございます。

期待する効果といたしましては、このサイトは登録した企業が自身で情報を更新できるよう設計しておりますので、タイムリーな企業情報の発信が可能となっているほか、県が運用するサイトであり無料で登録できるということがありまして、企業にとって登録しやすく、求職者はより多くの県内企業情報を得る機会が創出されるため、就職とか採用活動をサポートする一つの手段となりまして、県内企業への就職者の増加につながると考えているところでございます。

平山委員

県内企業の魅力を知らないまま県外に進学され、他県で就職されることが多いともいわれております。

県内企業の情報を広く周知するためにも、より多くの企業に登録するよう促すことが大

変重要だと思いますが、県のお考えをお聞かせください。

井口労働雇用政策課長

多くの企業に登録するよう促すことが必要ではないのかというところでございます。

登録企業が増加することにより、高校生、大学生を含む若者や仕事を探している求職者に対しまして、自分に合う企業を見つける有効な就職支援サイトになることが期待されていると考えております。

また、多くの企業に登録していただくことで、県内の幅広い企業を紹介できるサイトになるかと考えております。

あらゆる機会を捉えまして、多くの企業に参加いただけるように、登録の促進に努めてまいりたいと考えております。

平山委員

県が運営し、県内中小企業も活用しやすい就職支援サイトの充実が必要だと思います。

U I J ターンをはじめとする就職支援のためには情報の充実が重要であることから、改修と併せて企業の登録もしっかりと行っていただくよう重ねて要望しておきます。

また改修後は、県内企業の情報サイトとして、高校生や中学生にキャリア教育の一環として、近所や町内にある企業や県内企業のことを知るような取組を、教育委員会と共に連携して行っていただきたいと思います。

また、答弁にもございましたが、学生が利用しない、改修しても活用されない、企業の登録が進まないことも考えられるので、学生の意見をしっかりと聞きながら、より便利で使いやすいサイトとなるよう改修を進めてもらいたいと思います。

北島委員

このジョブナビ、先ほど企業数の御説明がありました。求職者の方も登録する、ログインするような形になっていますけれども、求職者の方の登録数は分かりますか。

井口労働雇用政策課長

ジョブナビの登録者数ということでございます。

こちらは、委員お話しのとおり、登録していただきますと、自分が興味のある企業の情報が更新されると、企業が情報を更新した後、登録しているメールアドレスから実際マッチングの申込みに対しても更新できるようになっております。

現在、そちらに240人を超える方に登録いただいております。

北島委員

240人ぐらいということで、ずっと登録したままの方もおられるかも分かりませんが、昔のホームページには何人訪問したということがありましたが、このジョブナビの毎月の訪問者数の統計は取っていないのですね。取っているか、取っていないかで構いません。

井口労働雇用政策課長

ページを見ている数は把握できていると思うのですが、すみません、あいにく今、数字は持っておりません。

北島委員

最後に、ジョブナビを通じて企業を見ました、インターシップに行く、行かない、例えばU I J ターンとか、これを見たから就職しましたという実績はあるのか。また、これを見たからここへ就職しましたという報告が企業側からあるとか、求職者からあるとかいうシステムではないのでしょうか。

井口労働雇用政策課長

ジョブナビとくしまを活用して、どのくらい就職につながったかという御質問かと思えます。

ジョブナビとくしまを運営させていただく中で、就職支援活動であるとか、実際に申込みであるとかということでございます。そちらのほうにつきましては、徳島駅前に設置しているとくしまジョブステーションと連携しております。

昨年、ジョブナビとくしまを活用していただきまして就職につながった、主にU I J ターンでの就職になりますが、38件あったところでございます。

あとジョブナビとくしまについて、アクセス数というお話が先ほどありましたが、1年間で約4万4,000人の方からアクセスがあったと聞いております。

北島委員

改修するということですので、これまでのそういったデータを基にして、もっとアクセス数を増やすためにはどうしたらいいとか、知っていただくためには、ジョブナビで、特に企業の皆様にはこれだけの実績がありましたといった情報公開も必要なのかなと思います。何をするにしてもこれまでのデータは非常に重要と思いますので、そういったこれまでのデータを活用して、いいサイトに仕上げていただきたいと思います。

岡田（晋）委員

今定例会に提出予定の議案第1号、令和6年度徳島県一般会計補正予算（第6号）で1,000万円計上されている、先ほど皆さんが質疑した、新規事業のジョブナビとくしま機能強化事業について、労働雇用政策課にお聞きします。

この事業の説明では、若者の県内就職及び企業の人材確保、採用時のミスマッチ回避を支援するため、県が運営する就職支援情報サイト、ジョブナビとくしまを改修するとありますが、令和4年4月にリニューアルオープンしたサイトを1,000万円の巨費を投じて改修する必要があるのでしょうか。何か不具合や不足事項が生じているのでしょうか、教えてください。

井口労働雇用政策課長

補正予算のジョブナビとくしま機能強化事業の改修に当たってというところでございます。

委員お話しのとおり、前回の令和4年4月にリニューアルということでございまして、前回の改修ではホームページ全体のサイトのデザインの変更や、スマホやタブレット等の御使用の端末に合わせて画面を見やすくするような修正を行ったところでございます。

今回の改修におきましては、先ほど平山委員に御答弁させていただきましたとおり、インターンシップ等の情報の拡充に加え、大学とか学生の意見としましてジョブナビとくしまの使いやすさの改善というお話を頂いております。

具体的に申し上げますと、特に目的のページまでに時間が掛かる、押したりクリックしたりする手間を要するところであるとか、就職支援情報について、どういうふうに検索をたどっていけばいいのか分からないなど、多様な意見を頂いているところでございます。

こうしたことから、使いやすさの向上というところを抜本的に改善してまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

最後に言われた使いやすさの向上ということで、先ほど北島委員も言われましたが、私ものぞいて登録してみようかなと思ったけど、メールアドレスを入れてパスワードを入れなければいけない、中を見ようと思っても簡単に見られない。そういうふうなサイトというのはこの頃はないんですよね。さっと見て、実際何かをするときそこでアドレスを入れる、そしてパスワードを入れるという仕様にしないと、利用は伸びないと思うんです。

今聞いたように登録者数が240人。後でも言いますけど全体的にそういうところの改善を、まずは入り口からしていったらどうかと思うんですけど、どうでしょうか。

井口労働雇用政策課長

現在、委員お話しのとおり、登録を促す、特にログインのページがすぐに出てきてというところがございます。

そういったお話を、委員のほかにも実際の利用者の方から頂いているだろうというところでございます。

また、ほかにも利用状況について、大学を通じまして学生さんにも御意見を聞きながら、それぞれ課題を解決するように取り組んでまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

是非とも、簡単に全体が見られるように制度設計していただきたいと思います。今回の改修は、意義はあると思うのですが、委託内容と委託料の内訳、そして具体的に予定の仕様書はどういうふうに作られていますか。

井口労働雇用政策課長

現在の委託料の内訳というところでございます。

サイト全体の改修は、設計と改修、そして機能の開発等で約900万円の概算の見積りを頂いているところでございます。

今後、具体的な仕様につきましては、詳細な改修の設計を進めてまいります。本日お話しいただいたような御意見や、高等教育機関等と協議する場で大学、学生等の意見を聞

きながら可能な限り反映いたしまして、企業、学生両面からより使いやすいサイトになるように仕様を固め、早期の執行に努めてまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

先ほど北島委員が質問された中で600社、登録者数が240人ということで、数はすごく少ないなと思うんです。

参考までにジョブナビとくしまのSNSは、YouTubeではチャンネル登録者2人、5本の動画配信、Instagramは開設してから1年5か月、投稿数230、フォロワー数196、それからフォロー中105、Xは2年7か月で139のフォロワー、59のフォロー中で、Xの固定されている投稿は2023年8月16日と、1年以上前の投稿です。

そして、投稿のほとんどがリポスト、誰かが投稿したやつを上げるという投稿で、残念ながらジョブナビとくしまの特徴が見受けられません。

機能強化については意義があるかと思いますが、発注者の県が、どれだけの主体性を持って業者へ提案する予定なのでしょうか。プロポーザル方式ではないんですかね。事業者任せのサイトだと職員さんも気軽に扱えない、ちょっとした変更もできない。それはいかがでしょうか。

井口労働雇用政策課長

県が主体性を持って業者提案し、しっかりとすべきではという御質問かと思えます。

今回の改修におきましては、インターンシップ情報の発信強化に加えまして、学生や大学、企業からの意見を参考にしながら改修を行ってまいりたいと考えております。

様々な御意見は可能な限り反映できるよう、事業者からこういった提案があったのでそのままやっていますというようなことではなく、県において改修に際しての必要な機能などの要素をしっかりと考えて伝えた上で、事業者にはそれを実現するためのより良い提案を頂くなど、県が主体性を持って改修案の作成に携わってまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

県の予算の取り方として委託料が多く見られるのですが、この予算は丸投げするのではなく、説明にあったように主体性を持って提案し、十分監督するようにしてください。

今後、執行状況を検証させていただくことをお伝えして、質疑を終わります。

福山委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、生活環境部・労働委員会関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（11時30分）